

保証書

持込修理

型番	NL-300S-5		
お客様	ご住所	〒□□□□□□□ TEL. □□□□□□□□□□	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名 TEL. □□□□□□□□□□	印

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
イ)使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
ハ)火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
ニ)車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ホ)腐食などによる故障及び損傷

シュアーお客様ご相談センター
048-931-3110

受付時間：
月～金の9時～12時/13時～17時
※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

- へ)樹脂部品、塗装などの自然劣化、剥離などによる損傷
ト)本書に記載する交換部分の消耗による交換
チ)本書に記載する消耗品の交換及び定期交換部品の指定どおりの交換の未実施による故障及び損傷
リ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
ニ)本器を使用できなかったことによる賠償費用は弊社が負担することはいたしません。
ホ)本保証書は日本国内においてのみ有効です。
ヘ)This guarantee is valid only with in Japan.
ニ)本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
ホ)出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。

株式会社 石崎電機製作所
http://www.sure-ishizaki.co.jp

本 社
〒111-0051
東京都台東区蔵前3-5-15

東日本営業所
〒111-0051
東京都台東区蔵前3-5-15
tel.03-5687-7031

西日本営業所
〒550-0013
大阪市西区新町1-25-7
tel.06-6541-3893

真空包装機脱気式 / NL-300S-5

取扱説明書

このたびはシュアー真空包装機脱気式をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

01 各部の名前

02~03 安全上のご注意

04~07 正しいご使用方法

08~09 保守点検

09 仕様

10 故障かな?と思ったら

10 補修部品・別売品

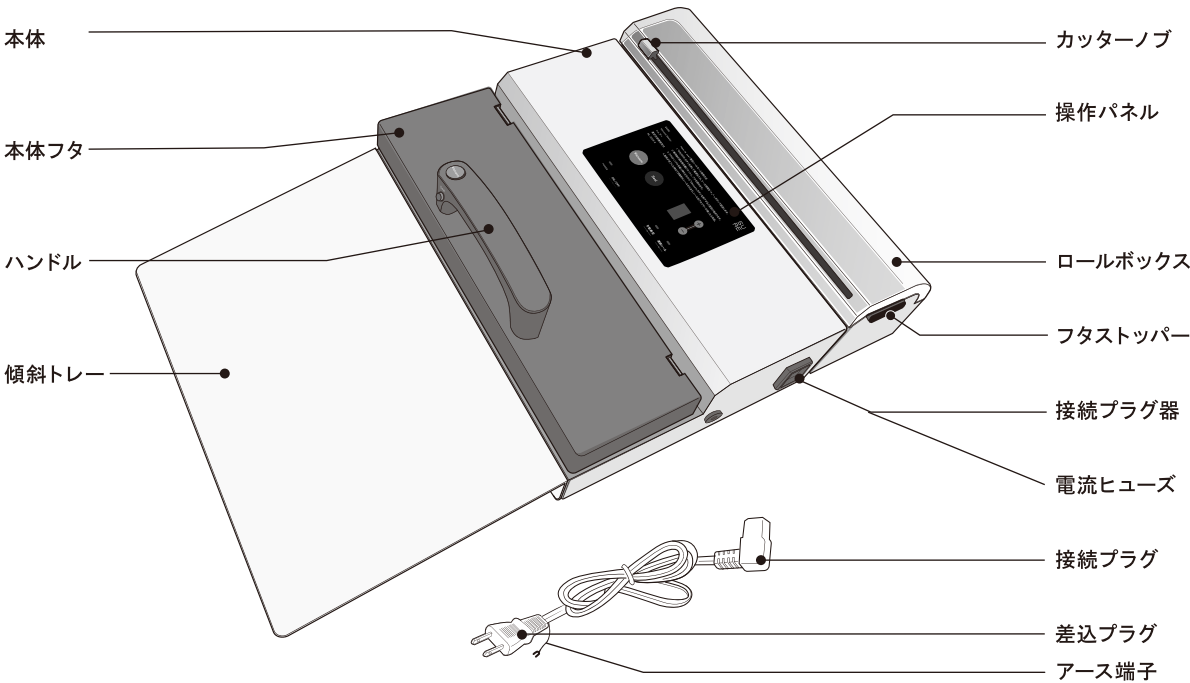
10 アフターサービス

Back Cover 保証書(裏表紙)

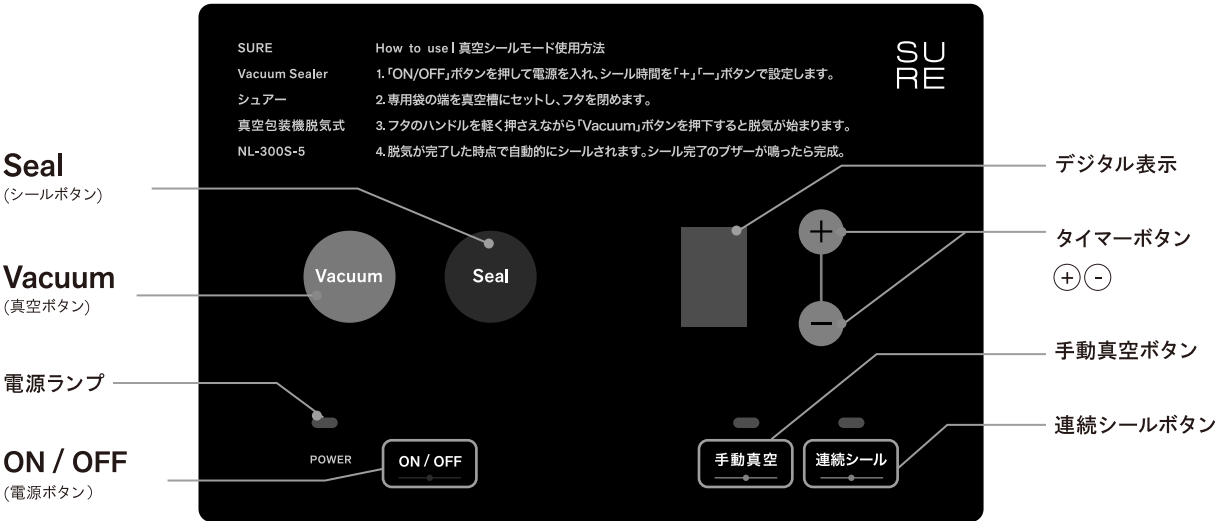


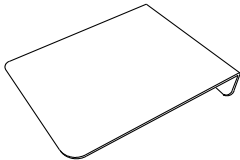
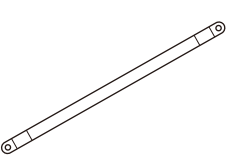
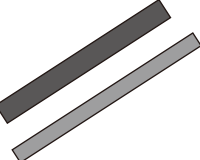
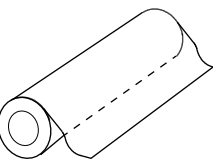
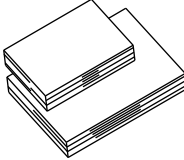
真空包装機脱気式 / NL-300S-5

各部の名前



操作パネルのみかた



付属品				
				
傾斜トレイ	ヒーター	フッ素樹脂絶縁粘着テープ 黒: 1枚 / 茶: 1枚	専用ロール袋 30cm×6m	専用一枚袋 20cm×30cm 30cm×40cm
1枚	1本		1本	各10枚

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、注意「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

⚠警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

⚠注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



禁止 (してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。



強制 (必ずすること)を示します。
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理を行わない、また改造はしない。
感電、漏電、異常動作による事故やけがの原因になります。



分解禁止



禁止

火薬・揮発性引火物・燃えやすい物のあるところでは使用しない。
火災、爆発の原因になります。



禁止



禁止

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ・コゲくさい臭いがする。
- ・電源コードや差込プラグが異常に熱い。

などの症状が出たら、すぐに販売店または「シュアーお客様相談センター」へ点検・修理を依頼してください。



必ず行う



必ず行う

水中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

差込プラグ、接続プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。



必ず行う

安全上のご注意 (その2)

注 意

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

使用中や使用直後はシール部に触れない。
シール部は高温のため、やけどの原因になります。



禁止

アース線をアース端子に接続しアースを必ず取る。
感電事故の原因になります。



必ず行う

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。
コードの異常発熱や破損により火災・感電、けが、やけどの原因になります。



禁止

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。
感電・ショート・故障の原因になります。



プラグを抜く

通電中に本器を移動したり、傾けたり、前後に激しく動かしたりしない。やけど・落下によるけがの原因になります。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・誤動作・火災の原因になります。



必ず行う

フッ素樹脂絶縁シートが破損したまま使用しない。
感電、やけどの原因になります。



禁止

カッターの刃に触れない。
けがの原因になります。



禁止

本体フタとシール部の間に腕や指を挟まない。
やけど・けがの原因になります。



禁止

ヒーター線やフッ素樹脂絶縁粘着テープの交換のときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行う。
感電、やけどの原因になります。



必ず行う

お願い

ご使用前に付属品の袋で真空シールテストを行い、真空シール状態と各部が正しく動作することを確認してください。

きれいにできない場合は、再度使用方法をお読みのうえ、設定の確認をしてください。

果実や野菜は調理後、真空シールしてください。

果実や野菜は呼吸しているので、生のまま真空シールを行うと、しばらくしてから袋が膨らんできます。

水分の多い食材は、手動真空をご使用ください。

袋の真空状態を目で確認し、本器内部に水分が入らない状況を確認しながら真空を停止させ、シールをしてください。本器内部に水分が入ると故障の原因になります。

真空シールした袋を電子レンジにかけると袋が破裂する場合があります。

必ず、袋の一部を開封するかほかの容器に移し替えてからご使用ください。

必ず定期点検を年一回を目安に実施してください。

連続使用の場合は、定期的に本器を休ませてください。

連続使用時間は2時間です(ショット間の休みを20秒とした場合)。
内部機器が発熱し、真空およびシールの性能が低下すると共に、各部の寿命が短くなります。

そばやパンなど形くずれしやすいものは、手動真空をご使用ください。

袋の真空状態を目で確認しながら、形状の変化をみて真空を停止し、シールをしてください。

魚を保存するときは、必ず内臓を取り除いて真空シールしてください。

魚の内臓からガスが発生する場合があります。

カニ、エビなどがった食材はペーパータオルなどで包んで真空シールしてください。袋に穴が開くことがあります。

ヒーター線、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴム、パッキンは消耗品です。ご使用前に必ず確認し、消耗している場合は、新品と交換してください。

正しいご使用方法 (その1)

事前準備: 01~02:設置準備 / 03~08:専用ロール袋加工準備

01. 本体を安定したテーブルの上などに置きます。

02. ロールボックスを取り付ける。
本体後部の2ヶ所のロック部分に付属のロールボックスを取り付けます。

03. 袋の形を作る。
付属の専用ロール袋を袋の形にします。
1)ロールボックス両側のフタストッパーを奥側(⇒側)にスライドし、フタのロックを解除し、フタを開けます。(図1)
2)付属の専用ロール袋を必要量の長さに引き出します。ロールボックスのカッターノブを左端あるいは右端に寄せ、フタを閉じます。両側のフタストッパーを手前にスライドし、フタをロックします。
注:下側に刃が出ています。使用するときには、手などを切らないようご注意ください。(図2)
3)カッターノブを上から軽く押さえながらスライドし、専用ロール袋をカットします。

04. 接続プラグを本体ケースの接続プラグ器へ奥までしっかり差し込みます。

05. 差込プラグを100Vのコンセントに差込み、アース端子をコンセントのアース線につなぎます。

06. 電源を入れる。
ON/OFFボタンを押すと電源ランプが点灯し、内部ファンが動作すると同時に、シール時間が表示されます。タイマーボタン(+)(-)を押し、シール時間を調整します。
注:付属のロール袋のシール時間は目盛3が適切時間です。時間は0~6秒まで、1秒間隔で設定できます。

07. 袋をセットする。
ハンドルを持って本体フタを開けます。
03.でカットした専用ロール袋の端面を真空槽の中央付近に置き、本体フタを閉めます。(図3)
注:専用袋はつるつる面を上。

08. シールする。
ハンドルを軽く下方に押しながら、操作パネルまたはハンドルのSealボタンを押してはなします。「ピー」と音が鳴ったらシール完了です。本体フタを開けて、専用袋を取り出してください。(図4)
注:Sealボタンを押してはなすと、真空ポンプが動作しますが、シール仕上がりを確実にするための動作です。

09. 電源を切る。
ON/OFFボタンを再度押します。内部ファンが停止し、初期状態06.に戻ります。

図1

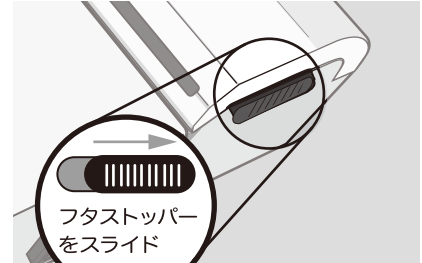
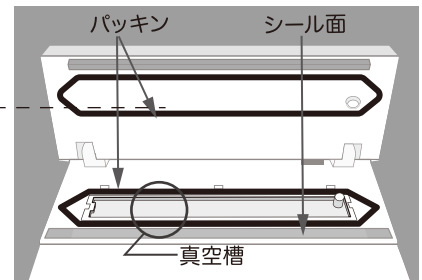


図2



図3



真空槽断面図

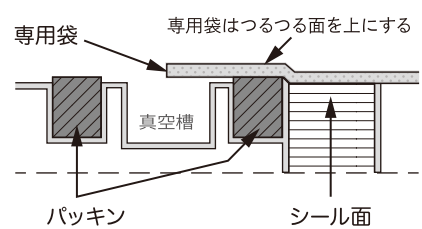
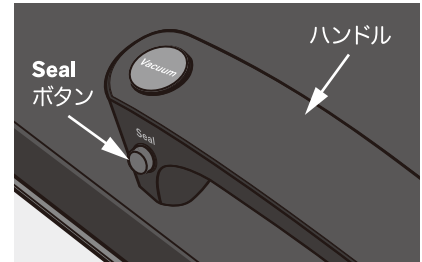


図4



正しいご使用方法 (その2)

本器は自動真空シール、手動真空シール、連続シール(真空なし)の3通りのシール方法を選べます。

自動真空シールモード

：真空完了後、自動でシールをします。

01.

電源を入れる。

ON/OFF ボタンを押すと、電源ランプが点灯します。デジタル表示にシール時間が点灯し、同時に本体内部のファンが始動します。(図5)

注: **ON/OFF** 通電ボタンを押した後、操作をしないと約10分後、通電は切れ、ファンは停止します。
02.

シール時間を設定する。

タイマーボタン **+** **-** を押して、シール時間を設定します。

注: 始めのシール時間の表示は前回のシール設定時間です。
03.

袋をセットする。

ハンドルを持って本体フタを開け、保存物を入れた専用袋を本体にセットします。

注: 専用袋は真空槽の中央付近に、しわにならないように置いてください。

注: 専用袋はつつる面を上(図6)
04.

Vacuum ボタンを押す

本体フタを閉じ、操作パネルの**Vacuum** ボタンまたはハンドル上部の**Vacuum** ボタンを押します。(図7)

注: 途中で、**Seal** ボタンは押さないでください。**Seal** ボタンを押すと真空動作が停止し、シール動作に移行します。
05.

真空を開始する。

真空ポンプが始動するので、軽く手でハンドルを下方に押えます。

専用袋の空気が脱気され始めたら、ハンドルから手をはなします。同時にデジタル表示が真空度の表示となり、9から0にカウントダウンします。

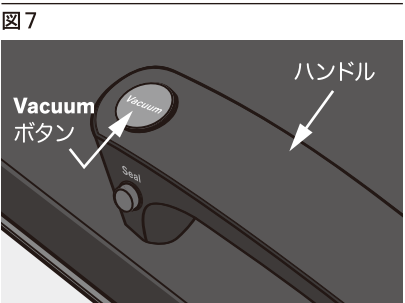
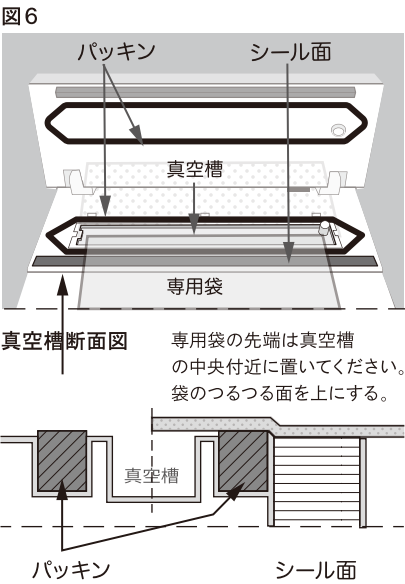
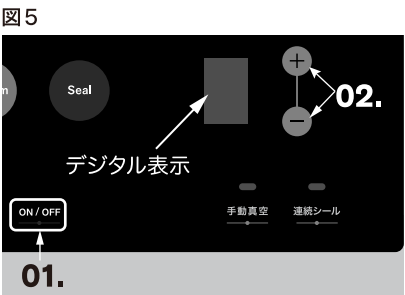
注: デジタル表示が2より下がらない場合は真空が不十分と判断し、シールに移行できません。約30秒後にデジタル表示は2から0になり、自動停止します。または**ON/OFF** ボタンを押し、動作を停止させます。専用袋やパッキンの損傷などがないことを確認後、再度袋をセットしてください。
06.

シールをする。

真空動作が終わるとシールに移行し、「ピーー」と音が鳴り、シールが完了します。本体フタを開けて専用袋を取りだしてください。
07.

電源を切る。

使用後は**ON/OFF** ボタンを押します。内部ファンが停止し、デジタル表示が消え、電源ランプが消えたら差込プラグをコンセントから抜きます。



手動真空シールモード

：真空状態を確認しながらシールをします。真空度が低くて良い場合、あるいは柔らかい食材や水分の多い保存物で形状をなるべく壊したくない場合に最適です。

01.

電源を入れる。

ON/OFF ボタンを押すと、電源ランプが点灯します。デジタル表示にシール時間が点灯し、同時に本体内部のファンが始動します。(図5)

注: **ON/OFF** 通電ボタンを押した後、操作をしないと約10分後、通電は切れ、ファンは停止します。
02.

シール時間を設定する。

タイマーボタン **+** **-** を押して、シール時間を設定します。

注: 始めのシール時間の表示は前回のシール設定時間です。
03.

手動真空ボタンを押す。

手動真空ランプが点灯し、デジタル表示は「P」を表示します。(図8)

注: 手動真空ボタンを押した後、操作をしないと約30秒後に手動真空は解除され、手動真空ランプは消灯します。
04.

袋をセットする。

ハンドルを持って本体フタを開け、保存物を入れた専用袋を本体にセットします。

注: 専用袋は真空槽の中央付近に、しわにならないように置いてください。

注: 専用袋はつつる面を上(図6)
05.

Vacuum ボタンを押し、真空を開始する。

本体フタを閉じ、軽く手でハンドルを下方に押しながら、操作パネルの**Vacuum** ボタンまたはハンドル上部の**Vacuum** ボタンを押します。**Vacuum** ボタンを押しているときだけ真空するので、専用袋の真空状態を見ながら、ボタンをはなします。(図10)

注: 水分が本器内部に入ると故障の原因となるため、水分が本体に入るとはVaccuumボタンをはなし真空動作を止め、シール作業をしてください。もし、本体内部に入った場合、少量の水分は真空槽のトレーに蓄積されます。トレーを上を持ち上げ、トレー内の水分を捨ててください。(図11)
06.

シールする。

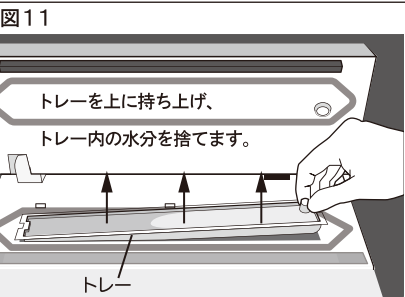
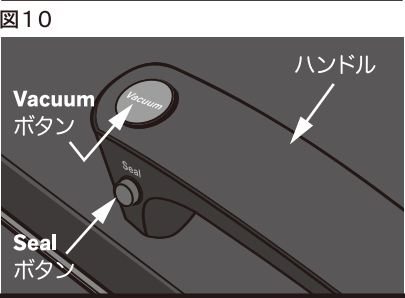
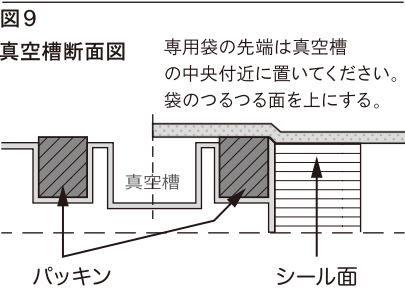
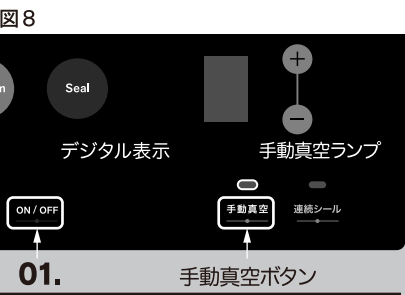
Seal ボタンを押しはなすと、シールを開始します。デジタル表示はシール設定時間から0までカウントダウンすると同時に、真空ポンプも再始動します。

注: **Seal** ボタンを押しはなすと、真空ポンプが再動作します。シール仕上がりを確実にするための動作です。
07.

完了する。

シールが終わり、真空ポンプが停止すると「ピーー」と音が鳴り、真空包装が完了します。本体フタを開けて専用袋を取りだしてください。

注: 手動真空ランプは消灯します。



連続シールモード(真空なし) : 真空シールを必要としないでシールする場合に使用します。真空引きをしませんので、一般のPE袋、PP袋、アルミラミネート袋も使えます。

01.

電源を入れる。
ON/OFFボタンを押すと、電源ランプが点灯します。デジタル表示にシール時間が点灯し、同時に本体内部のファンが始動します。(図5)
注: ON/OFF通電ボタンを押した後、操作をしないと約10分後、通電は切れ、ファンは停止します。
02.

シール時間を設定する。
タイマーボタン(+)(-)を押して、シール時間を設定します。
注: 始めのシール時間の表示は前回のシール設定時間です。
03.

連続シールボタンを押す。
連続シールランプが点灯し、デジタル表示は「C」を表示します。
04.

袋をセットする。
本体フタを開けます。専用袋に保存物を入れ、セットします。本体フタを開けるとデジタル表示は02.で設定した時間を点滅で表示します。
注: 専用袋はシール面の上に確実に置いてください。
05.

真空を開始し、シールする。
本体フタを閉じ、手で軽くハンドルを下方向に押します。本体フタを閉じるとシールを開始し、デジタル表示はシール設定時間から0までカウントダウンすると同時に、真空ポンプが動作します。
注: 真空ポンプはシール仕上がりを確実にするための動作です。
06.

完了する。
シールが終わり、真空ポンプが停止すると「ピーー」と音が鳴ります。本体フタを開けて専用袋を取り出してください。
注: 専用袋を取り出したあと、本体フタを閉めると、再度シールを開始します。シール動作を終わらせるにはON/OFFボタンを押します。
注: シールの途中で本体フタをあけると、「ピーー」と音が鳴り、デジタル表示にエラー「E」の表示が点滅します。その場合はフタを一度閉めると、「C」の点灯表示に戻ります。

図12

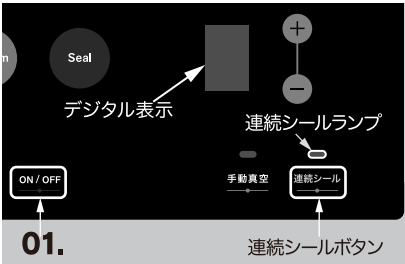
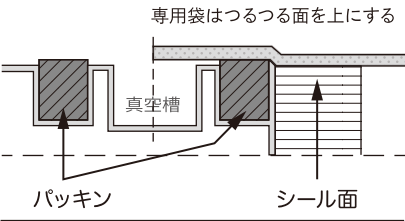


図13

真空槽断面図



作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、
使用直後のときは本体が十分に冷めてから行ってください。

フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒交換

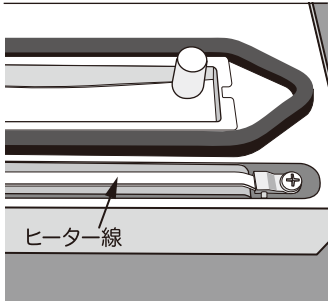
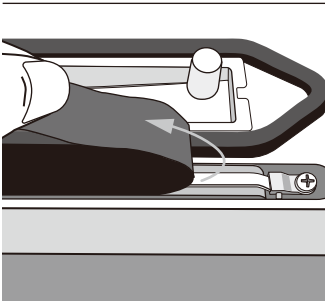
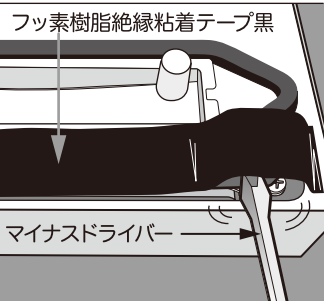
キズ、破れ、焦げや波打っているなどの症状がでたら交換してください。

01.

フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒の端下にマイナスドライバーなどの平らな先を差し込み、持ち上げます。
02.

持ちあがった端から剥がします。
03.

新しいフッ素樹脂絶縁粘着テープ黒を貼付けます。
注: ヒーター線表面に汚れが付いていたらアルコールで拭き取ります。



ヒーター交換

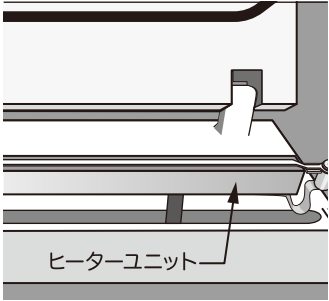
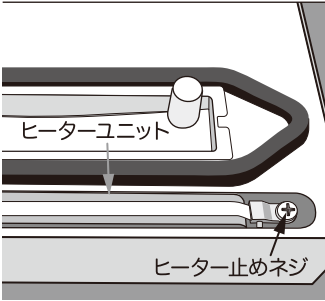
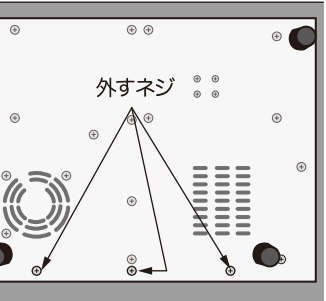
断線、凹凸や波打っているなどの症状がでたら交換して下さい。

01.

ヒーターユニットを外します。
フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒を外します。底面のネジ3本を外します。
02.

ヒーターユニットがゆるんだら、両側のヒーター止めネジ部分を持って、本体より上に引き出します。ヒーター両側のヒーター止めネジを外し、ヒーターを外します。
注: 張力スプリングの反発に注意して作業を行ってください。
03.

新しいヒーターを取り付け、ヒーターユニットを本体に納めます。ヒーターに取り付いている電線は本体内部に収納してください。
以下、逆手順で02.→01.の作業をします。

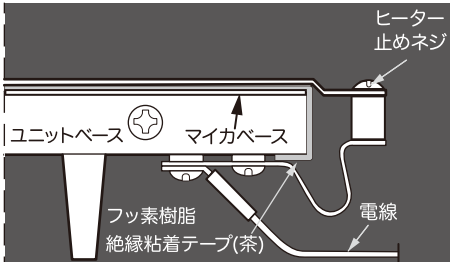


保守点検

フッ素樹脂絶縁粘着テープ茶交換

キズ、破れ、焦げや波打っているなどの症状がでたら交換してください。

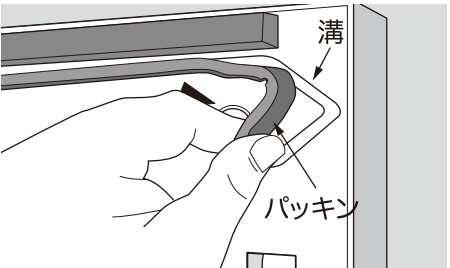
01. フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒を外します。
フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒交換を参照ください。
02. ヒーターを外します。
ヒーター交換を参照してください。
03. フッ素樹脂絶縁粘着テープ茶を外し、新しいテープ茶を貼り付けます。
以下、逆手順で02.→01.の作業をします。



パッキン交換

キズや裂け目がある、波打っている、表面が硬い、真空状態が弱くなっているなどの症状がでたら、交換してください。

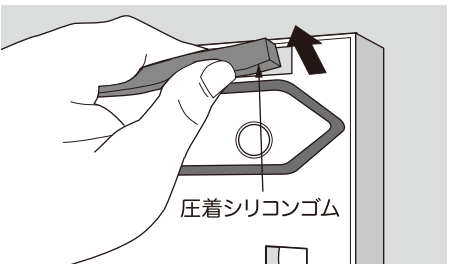
01. 指でパッキンを溝から外してください。
02. 新しいパッキンを溝に均等にはめてください。



圧着シリコンゴム交換

キズや裂け目がある、波打っている、表面が硬い、シール状態が均一でないなどの症状がでたら、交換してください。

01. 指で圧着シリコンゴムを溝から外してください。
02. 新しい圧着シリコンゴムを溝に均等にはめてください。
網目模様が付いている方が表です。



仕 様

型番	NL-300S-5	製品寸法	幅390×奥行392×高さ150mm
定格	100V-550W 50/60Hz	質量	8.2kg
シール寸法	幅5mm×長さ30cm	付属品	傾斜トレイ 1枚
接着部温度	250℃		ヒーター 1本
到達真空度	-95kPa以上		フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒 1枚
シール時間	設定時間6～0秒(1秒間隔)		フッ素樹脂絶縁粘着テープ茶 1枚
脱気速度	16ℓ/min		専用ロール袋 30cm×6m 1本
連続使用時間	2時間		専用一枚袋 20cm×30cm 10枚
ショット間休止時間	20秒		専用一枚袋 30cm×40cm 10枚

故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

症 状	点 灯 し な い	電 源 ランプ が	動 作 し な い	ボ タ ン スイッチ が	動 作 し な い	真 空 ポンプ が	真 空 に な ら な い	シール が ぎ れ い に で き な い	断 線 し や す い	ヒーター線 が	原 因 / 処 置
調べる ところ											
差込プラグ	●										プラグの根元を確認し、断線の場合は修理に出してください。
接続プラグ	●										プラグの根元を確認し、断線の場合は修理に出してください。
電源コード	●										電源コードを確認し、断線の場合は修理に出してください。
電流ヒューズ	●										電流ヒューズを確認し、切れている場合は修理に出してください。
フタ						●	●				フタを閉じていますか？フタを閉じた時軽く上からおさえていますか？
パッキン						●					キズ、裂けなどがあれば、交換してください。
圧着シリコンゴム								●	●		キズ、裂けなどがあれば、交換してください。
操作パネル	●		●	●							操作パネルを確認して、異常があれば修理に出してください。
ヒーター線								●	●		ヒーター線の断線、キズ、変色している場合は交換してください。
フッ素樹脂 絶縁粘着テープ								●	●		破れ、しわ、ざらつき、変色があれば交換してください。
真空ポンプ				●	●						動作しない、動作するが真空度が上がらない場合は修理に出してください。

補修部品・別売品

補修部品

ヒーター線		フッ素樹脂絶縁 粘着テープ 黒		フッ素樹脂絶縁 粘着テープ 茶		圧着シリコンゴム		パッキン	
5本入		5枚入		5枚入		1本入		2本入	
型 式	NPH-300S-5	型 式	NPN-300S-BK	型 式	NPN-300S-BW	型 式	NPG-300S	型 式	NPP-300S

別売品

専用袋／ロールタイプ 2本入				専用袋／一枚袋タイプ 100枚入	
型式	寸法	型式	寸法	型式	寸法
PAP-0300600-R	30cm×6m	PAP-0200600-R	20cm×6m	PAP-020030-B	20cm×30cm
PAP-0301500-R	30cm×15m	PAP-0201500-R	20cm×15m	PAP-030040-B	30cm×40cm

アフターサービスについて

修理・お手入れなどのご相談は、お買上げの販売店へお申し付けください。
または、シュアーお客様ご相談センターへお申し付けください。

詳しくは裏表紙の保証書部分をご覧ください。